

検査成績書

検第A2301217号 2
令和5年05月22日

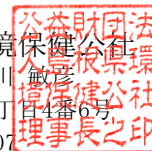
〒684-0404

島根県隠岐郡海士町福井1521-2

海士いわがき生産株式会社

様

公益財団法人 島根県環境保健協会
理事長 吉川 敏彦
〒690-0012 松江市古志原一丁目4番6号
TEL 0852-24-0207



検体の名称	海水（殺菌処理後）		
加工者	海士いわがき生産株式会社	採取海域又は生産海域	（菱浦）
検体数量	300ml	検査年月日	令和5年05月16日

令和5年05月16日に依頼された上記検体について、検査結果は下記のとおりです。

検査項目	結果	検査方法
大腸菌群数	2 /100ml 未満	LB-BGLB発酵管によるMPN法 (食品、添加物等の規格基準 生食用かきの加工基準による)
ー以下余白ー		

備考：

検査期間： 令和5年05月16日 ～ 令和5年05月18日 | 検査責任者： 下前 さおり

Shimane Environment & Health Public Corporation

1-4-6, Koshibara, Matsue-city, Shimane-pref., 690-0012 Japan

Tel +81-0852-24-0207 Fax +81-0852-55-4525

May 19, 2023

No. A2301218

EXAMINATION CERTIFICATE

This is to certify that the samples submitted by the applicant have been duly examined by our laboratory and the results are as follows;

Client : Ama Iwagaki Seisan Co., Ltd.
1521-2, Fukui, Ama-cho, Oki-gun, Shimane-pref., 684-0404 Japan
Name of Sample : Rock-Oyster (Crassostrea nippona) [HARUKA]
Growing area : Oki Hobomi
Bacterial depuration area : Oki Hishiura
Date of Receipt : May 16, 2023

Results of the Examination :

Item	Results
Norovirus ※1	Negative
E.coli	18 MPN /100g under
Aerobic plate count	300 cfu/g under
Vibrio parahaemolyticus	3 MPN /g under
-Blank-	
※1 Modified method with bacterial treatment	
Examination Period	May 16, 2023 ~ May 18, 2023
Persons Responsible for Examination	Bacteriological Inspections : Saori Shimomae



Masaaki Nagase
Director, Masaaki Nagase

Shimane Environment & Health Public Corporation

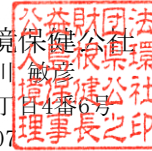
検査成績書

検第A2301218号
令和5年05月19日

〒684-0404
島根県隠岐郡海士町福井1521-2

海士いわがき生産株式会社

公益財団法人 島根県環境保健公益社
理事長 吉川 敏彦
〒690-0012 松江市古志原一丁目4番6号
TEL 0852-24-0207



検体の名称	イワガキ（浄化後）【春香】		
加工者	海士いわがき生産株式会社	採取海域又は生産海域	隠岐保々見（菱浦）
検体数量	8個	検査年月日	令和5年05月16日

令和5年05月16日に依頼された上記検体について、検査結果は下記のとおりです。

検査項目	結果	検査方法
ノロウイルス（改良法）	検出せず	リアルタイムPCR法（改良検査法） （食安監発第1105001号 ノロウイルスの検出法について 準拠）
大腸菌	18 /100g 未満	EC発酵管によるMPN法 （食品、添加物等の規格基準 生食用かきの成分規格）
細菌数（生菌数）	300 /g 以下	標準平板菌数測定法 （食品、添加物等の規格基準 生食用かきの成分規格）
腸炎ビブリオ	3 /g 未満	アルカリペプトン水増菌培養法 （食品、添加物等の規格基準 生食用かきの成分規格）
ー以下余白ー		

備考： ノロウイルス検査は、改良検査法（東京都健康安全研究センター開発法）※で実施した。
※中腸腺の10%乳剤に細菌（Klebsiella oxytoca）を添加し培養することでノロウイルスの回収率を高めた検査法。以降の操作については、全て通知法に準拠し行った。

検査期間	令和5年05月16日 ～ 令和5年05月18日	検査責任者	下前 さおり
------	-------------------------	-------	--------

令和5年5月19日

海士いわがき生産株式会社 様

公益財団法人島根県環境保健公社
環境生活課

ノロウイルス検査の結果について

ご依頼いただいた検体について、ノロウイルス遺伝子の検出値は下記のとおりでしたのでお知らせします。

記

受付番号 検第 A2301218 号
検査受付年月日 令和5年5月16日

検体名	ノロウイルス (判定)	ノロウイルス (コピー数)	検査法
イワガキ【春香】 (隠岐保々見(菱浦);浄化後)	検出せず	0 ※	リアルタイムPCR法(改良検査法) 食安監発第1105001号準拠

※事前に行ったリアルタイムPCR検査の性能試験で最小検出感度を求めた結果、理論値1コピーのNorovirusGI Positive Control DNA及びNorovirusGII Positive Control DNAそれぞれを三重測定したところ、45Cycle以内に増幅が確認された。よって、PCR反応液中に1コピー以上のDNAが存在すれば、三重測定を行う場合において理論上検出可能と見なし、上記検体のコピー数を0とした。